

声明書

APP が保護価値の高い森林に関する新たな方針を発表

アジア・パルプ・アンド・ペーパー・グループ（APP）は、世界で最も尊敬される製紙会社となるため、絶えざる努力を積み重ねて参りました。1972年の会社設立以来、APPは当社が事業活動を展開するすべての地域において、社会面及び環境面での責任を果たすことを約束してきました。こうした責任は、我々の事業活動を取り巻く経済的・社会的・政治的環境の変化により、時代と共に変化してきています。絶えず進展して行くこれらの環境問題に対する義務に沿って、APPは雇用の創出、ヘルス・ケア、インドネシアの貧困層の人々に対する教育支援など、一連の企業の社会的責任プログラムをこれまでに推進してきました。

APPは、インドネシアの熱帯雨林を保護するという国際的な重要性を理解しており、この目的を達成するための国家の方針を全面的に支持しています。こうした重要課題に対するAPPの公約を前提として、我々は自然林および生物多様性を保護するため、より高い水準を導入することにしました。とりわけ、当社の方針並びに慣行を継続的に改善して行くというプロセスの一端として、保護価値の高い森林（HCVF）の国際基準を採用することとしました。このHCVFの国際基準は、世界の影響力の大きい、社会的に認知された多くのNGOによって受け入れられているものです。

現時点で、HCVFの一層高い水準を採用するという動きは、当社の環境戦略の次の時代につながる自然な進化として捉えています。この方針は、インドネシア政府によって定められた土地配分計画に基づき、長年にわたり進められてきたものです。インドネシアの法律によれば、パルプ材植林は、荒廃地、自然林伐採地跡、不毛地などの生産林内でのみ許可されています。

環境と社会面で最高の基準と健全性を持つ製品を顧客に提供し、国際社会に共有されるビジョンを打ち出すために、我々は今日から大胆な計画に着手しようとしています。我々は、NGOとの対話の中で提起された重要な課題を考慮に入れています。当社のサプライチェーンの中のHCVFを保護するのがAPPの目的です。すでに我々は原料供給源を限定するための多くの作業を行っていますが、こうした作業を以下のように拡大させて行きます。

1. インドネシアでAPPが所有する森林コンセッションに関して

- a. 2012年6月1日から、APPはHCVF評価が行われている期間中、自然林の伐採を停止します。
- b. HCV Resource Networkの最善慣行に従ってHCVF評価を実施するために、我々は信頼の高い専門家チームを起用しました。
- c. 我々は、HCVF評価の結果に基づき、特定されたすべての保護価値の高い地域を保護します。

2. インドネシアにおける APP の独立系パルプ材供給会社に関して

- a. 当社の HCVF に対する確固たるコミットメントがなされたことを考慮し、独立系供給会社が 2014 年 12 月 31 日までに、我々の HCVF 評価に対する要求に応じることを期待します。
 - b. APP は国際的な NGO パートナーと共に、独立系供給会社に対し、HCVF 評価を採用するように協働して行きます。
 - c. HCVF 評価が実施されない場合、我々は供給契約を再検討します。
3. 保護価値の高い森林を保護するために、我々はマルチ・ステークホルダー戦略をさらに高めて行きます。
 4. 我々は当社のトレーサビリティ システムを引き続き見直し、さらに強化させて行きます。
 5. 我々はインドネシア政府の法律と規制に従って、泥炭地を保護します。
 6. 当社の気候変動に対するコミットメントに沿って、我々はパルプ材植林地における高炭素貯蔵に関する独立した研究と、マルチ・ステークホルダーとの取り組みおよびその実施を主導的に行います。
 7. 我々は、自由意志に基づいた事前の合意(FPIC 原則)の最善慣行要件に従って事業活動を行っていることを確約して、地域社会との取り組みを向上させて行きます。

APP は、当社のウェブサイト、環境報告書及び主要ステークホルダーの方々との継続的な取り組みを通じ、透明性のある形でこうした公約の実行について、その進展状況を 3 ヶ月毎に評価し、報告いたします。

企業として、我々は常に機会を求めて市場評価を行って参りますが、ここに掲げたコミットメントは、現在の事業活動および将来のすべての拡張計画にも適用されるものです。

APP マネジメント

APP について

アジア・パルプ・アンド・ペーパー (APP) とは、インダ・キアット紙パルプ会社、ピンド・デリ紙パルプ会社、チウィ・キミア製紙会社、ロンター・パピルス紙パルプ会社、エカマス・フォルトウナなど、インドネシアにある複数の工場生産されている紙製品の総合ブランドです。インドネシアに本社を置く APP は、120 ヶ国を超える国々で製品を販売しています。APP の生産設備の大部分は LEI と PEFC による加工・流通過程認証を取得しています。APP は、ギアム・シアク・ケチル・ブキット・バツにある 17 万 8,000 ヘクタールの生物圏保護区、10 万 6,000 ヘクタールのセネピストラ保護区など、多くの大規模な環境保全取り組みを支援しています。この両保護区はスマトラ島リアウ州に位置しています。APP による野生生物保全取り組みには、他にもカリマンタンでのクタイ・オランウータン・プログラムや、ウジュン・クロン国立公園でのジャワサイの保護への支援などがあります。